

議会だより かみやま

第65号

2025.8.15

6月定例会

- 町長の行政報告..... 2頁
- 6月定例会..... 3頁
- 令和6年度補正予算・令和7年度補正予算、その他..... 4頁
- 6月定例会一般質問..... 5～9頁
- 令和7年名西消防組合議会・行政視察..... 10頁

町長の行政報告

組織の機構改革

総務危機管理課

豪雨災害・巨大地震など、様々な災害に対して、町民の生命・財産・暮らしを守る、防災減災に注力する体制を図っている。

まちづくり戦略課

デジタル技術などを活用した行政運営に対応し、新しいまちづくりを戦略的に実行。住み続けたいまち、移住したいまちに向け、新しい施策に取り組む。

鳥獣対策室

鳥獣被害対策を強化すべく、産業観光課内に鳥獣対策室を設置し、捕獲体制の強化、捕獲檻導入、補助金の新設などを行い、有害鳥獣による被害が減少するよう対策を強化している。

地域包括支援センター

高齢者、障害者、生活困窮者など、町民の皆様方の相談支援を行っている神山町社会福祉協議会内に置き、

総合相談、権利擁護、地域の支援体制づくりなど、お互いに連携し合い、さらに推し進める体制を図っている。

国の動き

国の経済等の状況

5月の月例経済等の報告に関する関係閣僚会議では、「景気は緩やかに回復しているが、米国の通商政策等による不透明感がみられる。」とされ、先行きについては「雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクが高まり、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども我が国の景気を下押しするリスクとなり、金融資本市場の変動などの影響に一層注意する必要がある。」

令和7年度地方財政計画

地方交付税等の一般財源総額は交付団体ベースとして昨年度と比較し、2,904億円の増額、率にして1・6%増を確保するとしている。しかし人口減少の影響による段階補正の変更など、単純に増加とはならない可能性があり、地方交付税頼みの本町では、今後とも国・県の動向を注視し経費削減に努め、国県支出金や有利な地方債などを有効活用し、適正な執行に努めたい。

地方創生有識者会議

今後10年の指針となる基本構想案として住所地以外の地域に継続的に関わる方を登録できるふるさと住民登録制度の創設に向けて検討が行われており、この制度における特定の地域への継続的に関わる関係人口として、地域経済への貢献、地域の担い手確保につながるほか、地域経済の活性化

に寄与するなど、誰もが登録でき、柔軟かつ間口の広い仕組みの構築を目指す制度であり、本町においても今後このふるさと住民登録制度に注視し、関係人口の増加に努める。

県の動き

未来に引き継げる徳島の実現を掲げ、当初予算5,160億4,000万円を計上、国際交流・関係人口の拡大、こどもまんなか社会の実現、徳島新未来創生に向けた教育再生、地域の継続的な成長を実現する県土づくり、防災対策の推進など、様々な事業を進めていくようである。

町の動き

神山町の物価高騰対策

5月20日から町内で使用できる一人当たり7,000円の神山町生活応援商品券を配布している。物価高騰への支援を行うだけでなく、町内経済を活性化したい。

令和7年6月定例会は、令和7年6月13日から20日までの8日間の会期で開催した。令和6年度補正予算、税条例改正等7件の専決議案を承認した。また令和7年度一般会計補正予算、令和7年度特別会計等補正予算、条例改正のほか、財産の取得、固定資産評価委員会委員の選任など11件を審議し可決・同意した。

専 決

- 専決第1号 令和6年度神山町一般会計補正予算（第8号）
- 専決第2号 令和6年度神山町介護保険特別会計補正予算（第6号）
- 専決第3号 令和6年度神山町後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）
- 専決第4号 令和6年度神山町簡易水道事業会計補正予算（第4号）
- 専決第5号 神山町税条例の一部改正
- 専決第6号 神山町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- 専決第7号 神山町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

補正予算

- 令和7年度神山町一般会計補正予算（第1号）
- 令和7年度神山町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
- 令和7年度神山町介護保険特別会計補正予算（第1号）
- 令和7年度神山町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

条例改正等

- 徳島県市町村総合事務組合規約の変更
- 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
- 神山町重度心身障害者等に対する医療費の助成に関する条例の一部改正

契 約

- 財産の取得（防災備蓄倉庫）
- 財産の取得（防災用品）
- 財産の取得（学習者用タブレット）

人 事

- 神山町固定資産評価審査委員会委員の選任

行政視察

6月16日（月）に「林道奥屋敷線」、「林道殿宮線」を視察した。

19日

一般質問 仁志 哲也議員、新居 榮二議員、佐出 由恵議員、志甫 守議員、白土 義信議員、森 一博議員

令和6年度補正予算（専決）



議案第 25 号（専決第 1 号） ■令和6年度一般会計補正予算（第8号）

歳入歳出それぞれ

1億9,865万円増額

予算総額

70億5,104万円

歳出	総務費	一般管理費	財政調整基金積立金	1億8,744万円
		自動車運行費	タクシー利用助成事業負担金	△590万円

議案第 26 号 （専決第 2 号）	令和6年度介護保険特別会計補正予算			（第6号）
	265万円減額			10億3,363万円
議案第 27 号 （専決第 3 号）	令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算			（第4号）
	142万円増額			1億3,055万円
議案第 28 号 （専決第 4 号）	令和6年度簡易水道事業会計補正予算			（第4号）
	支出 増減なし			総額 2億 610万円

令和7年度補正予算



議案第 32 号 ■令和7年度一般会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ

2億5,858万円増額

予算総額

73億7,258万円

歳出	総務費	一般管理費	庶務管理システム導入委託料	891万円
			財政調整基金積立金	1億4,006万円
		企画費	まち・ひと・しごと創生推進事業基金積立金	1億 340万円
		地方創生推進費	地域とともに高校魅力発信支援費負担金	132万円
	教育費	社会教育総務費	神山町国際交流プロジェクト委託料	△235万円

議案第 33 号	令和7年度国民健康保険特別会計補正予算			（第1号）
	306万円増額			7億7,996万円
議案第 34 号	令和7年度介護保険特別会計補正予算			（第1号）
	3,395万円増額			10億1,257万円
議案第 35 号	令和7年度後期高齢者医療特別会計補正予算			（第1号）
	64万円増額			1億3,328万円

人 事 案 件

議案第 42 号	神山町固定資産評価審査委員会委員の選任		
	赤尾 苑香 氏	神山町阿野 任期：令和7年7月1日から令和10年6月30日まで	

一般質問



仁志哲也 議員



仁志議員の録画映像はこちらから

●質問1

神山町における水道対策について

配水管の更新・耐震化の状況

答弁 建設課長

平成24年度以降に地区毎に耐震管への更新工事を施工中。令和6年度は下分・大埜地区の布設替工事を施工した。

再問

施設維持管理・修繕・布設替工事等には今後とも高額な経費が必要と考えられるが

答弁 建設課長

住民生活に欠かせない重要なインフラである。老朽化以外でも地震災害等による水道管が破裂する例もあるため、断水被害が起こらないよう国の補助金等を活用し、更新していく予定。

●質問2

本町における防災対策について

1 避難人数と備蓄食料品の対応日数

答弁 総務危機管理課長

神山町各地区では、徳島県の地域防災計画で示されている避難所生活者数320人を避難想定人数とし備蓄品等を準備している。県の計画では、1ヶ月後でも町全体で160人の避難が予測される。町では主食とスープ等とおかず1品を1食セットとし、想定避難者数を上回る3食3日分を備蓄している。水についても1日3リットルを目安に人数分を確保している。今後、地域防災計画の避難所生活者数が見直された時には、それに応



じた避難所の備蓄品等を配備する。

2 各避難所の空調設備・調理等の加熱機器の状況

答弁 総務危機管理課長

各地区公民館・神山中学校屋内運動場が、避難所として防災拠点施設となる。各施設には、空調設備を設置しており、調理等の加熱機器については、各施設に調理室があり、一度に多くの備蓄食料を加熱できる「移动式かまど」を配備している。

再問1

停電となった場合の、夏場の対策

答弁 総務危機管理課長

避難所となる各公民館には、常にガソリンを満タンにしたインバータ発電機1台を備えており、携行缶の燃料を補充すれば約80時間電力を確保できる。しかしこの発電機では避難する部屋の冷暖房設備は動かせない。夏場の暑さ対策としては、国の新しい地方経済・生活環境創生交付金を活用し、今年度、スポットクーラーとインバータ発電機の配備を行う。冬場は公民館等にある石油ストーブ等で対応する。スポットクーラー・石油ス

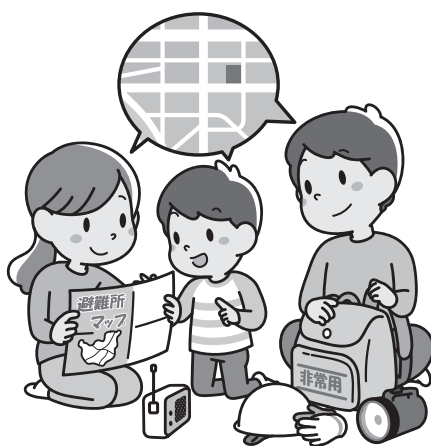
再問2

備蓄食料品を温める調理室の燃料等

答弁 総務危機管理課長

各公民館の調理室はプロパンガスを使用し、停電時でも使用可能である。

トープにおいて必要となる燃料は、ガソリン携行缶・灯油ポリタンクで保管しているが、長期避難所生活に対応可能な量は備えていない。停電時の燃料確保については町として最大限の努力は行うが、地域の方々にもできる限り協力をお願いして避難所運営をする。



一般質問



新居榮二 議員



新居議員の録画映像はこちらから

●質問1●

広報かみやまについて

最近の広報を見ると移住者や町外の方の話題が多く載せられており、大切な資料であるとの認識が非常に薄いのではないかと感じる。

タウン誌や商店街の広報誌ではない町の動静を後世に残す大切な資料であるという基本を大切にし原点に返るべきではないかと考えるが町としての見解を求める。

●答弁● まちづくり戦略課長

町の記録として将来残すべき地域の歩みを伝える大切な媒体であると強く認識している。

町には貴重な民俗芸能や伝統行事、歌やおどり等、次の世代に残していくべき文化が数多く存在する。こうした地域の宝をより多くの人、若い世代にも伝えていけるよう今後

の紙面では伝統や文化に焦点を当てた特集なども取り上げ記録性と伝承の視点をより意識して、高齢者にも届く内容で編集して参りたい。

●質問2●

社会教育について

本町においての取り組み、現在神山町では支所長や集落支援員が公民館主事の役を担っている地区が多いようだが、神領地区においては新しく建設された体育館の中に公民館が入っているが看板さえ掛かっておらず公民館として機能しているのかも不明だ。神山町の公民館活動をはじめとする社会教育についての取り組みについて具体的な説明を求める。

●答弁● 教育長

社会教育法において次のように規定されている。学校教育法等に基づき学校の教育課程として行われる教育活動を除き主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動、体育及びレクリエーションの活動を含むとされている。

●質問3●

税の収納について

税金を納めることは国民の義務であり避けて通ることができない。

神山町の税の収納率について質問する。税務保険課において収納率は切り離せない必須の問題と考えられる。科目ごとの収納目標値の報告を求める。

●答弁● 税務保険課長

町が行っている様々な公共サービスは町民の皆さんに納めていただいている税金や各種保険料などの貴重な財源によって提供されている。

町税など滞納することは町民サービスの低下を招くばかりか納期限内に納付している多くの町民の皆さんとの公平性が保てないことになるので期限内納税にご理解ご協力をお願いしている。各税目において収納率の目標は100%としており令和6年度の現年度課税分についての町税の収納率は令和7年5月末現在で町民税が99・71%、町税全体では99・24%の収納率となっている。

●質問4●

町政について

国においては政治主導型でなく官僚主義であることは町長もご承知のことと思うが、地方自治体に置き換えれば市町村の職員が官僚に位置するものでないかと思う。そこで人事異動に関しなかよし人事

ですることなく職員が進んで町の奉仕者として町の発展のために職員一丸となって働けるよう風通しの良い職場となるよう町長としてのお考えを求める。

●答弁● 副町長

人事異動については毎年10月に総務、今は危機管理課長だが翌年度の事務事業の体制や、また人員の要望などについて各所属長へのヒアリングを実施、ヒアリングをもとに11月に人事異動の希望や職場についての意見を職員すべてに毎年提出してもらって意見を参考にして翌年度異動を実施している。

●答弁● 町長

町長になって2年1ヶ月余り。心境とか今後、町政の目標、抱負を町民に語れということだが、非常に日々の思いと今まで以上に土、日、祝日もいろんな課題もある。特に日々決裁業務を始め、国、県に対する要望、道路関係とかインフラ関係が主で要望活動、また各種団体との会合、総会への出席、6月から秋にかけて際立つて多いように思う。

今後この町政運営に対して町の基本構想や計画を策定し予算を編成執行また条例を制定、改正をし町議会に提案する。

一般質問



佐出由恵 議員



佐出議員の録画映像はこちらから

●質問1●求心力について

町長として職員のモチベーションを高め組織の求心力を維持するために、どのように考え行動されているのか。

答弁 町長

人を引きつけ物事の中心人物として周囲の人を取りまとめる力と認識している。今後この目標に向かって、邁進して参りたい。

●質問2●総務課の再編について

総務課の再編について、町民の皆さまに詳しく広報することが必要だったのでは無いか。

答弁 総務危機管理課長

今後、神山町のホームページ等でどのような理由で課の再編をしたかご案内していく。

●質問3●指定管理について

指定管理者制度を採用しているが、町内外から苦情が聞かれる。

町は問題をどのように指導、改善していくのか。

答弁 総務危機管理課長

各所属担当が事業者からの事業報告、収支報告を確認しており、引き続き経費の節減と、各施設のより一層の利用促進に努めていただき、各担当において適切な指導、監督に努めていきたい。

●質問4●「カスタマーハラスメント」について

報道によると、神山町は「問い合わせや対応件数が少ないので対応策をとっていない」とあったが、今年度は、対応策を講じているのか。相談はあったのか。

答弁 総務危機管理課長

カスタハラは年に何回か電話を受けることがあり、所属長や職員がサポートして対応している。厚生労働省の調査では近年増加傾向であり、要綱作成に取り組んでおり早急に対策を行う。

●質問5●人事について

偏った移動が行われているのではないかと疑問や不満の声があるが、職員が「丸」な仕事に取り組み姿勢が町民の皆様に伝わっていないのではないのか。

答弁 総務危機管理課長

職員が町民の皆さんに対し丁寧な接し、通常業務を一生懸命やっているとお示しできたらと考えている。

●質問6●まちづくり戦略と「つなぐ公社」について

まちづくり戦略をどのように計画しているのか。「つなぐ公社」の事業内容と予算額や財源について、具体的な説明を求める。

答弁 まちづくり戦略課長

民間と行政の中間支援組織として、10年前に設立し今年度は第三期計画の策定を迎える。空き家改修、まちのクルマLetsなど、多様な取り組みを通じて、社会増に繋がる一定の成果を着実に積み重ねてきた。

令和7年度予算では、委託料7700万円を予定しており、本町の将来目標として、2060年に、人口3000人を下回らない社会の実現を掲げている。

●質問7●鳥獣害対策について

鳥獣害対策室として、今までの鳥獣害対策とどのような変わったのか。

答弁 産業観光課長

今年の予算の中で移動できる捕獲檻を購入し設置する。試行錯誤しながら有害鳥獣の減少に努める。

再問

猟友会に依存するのではなく、全町民あげての取り組みをする必要があると思うが、そのような計画があるのか。

答弁 産業観光課長

現在、町民挙げての施策や対策についての計画は無い。

●質問8●簡易水道について

簡易水道施設の位置や、現場の状況をどのように把握し、管理されているのか。

答弁 建設課長

配水池については、集中管理システムで職員に通報され24時間体制で断水しないように対応している。水道担当職員やシルバー人材センターに委託して衛生管理に当たっている。今後も安全で安心した水を供給できるよう水質管理に努めて参りたい。

再問

すべて伏流水や地下水を利用しているのか。

答弁 建設課長

施設により地下水、伏流水、表流水を消毒して衛生的な水を供給している。

●質問9●町道の維持管理について

通行に支障が出ている町道が増加傾向にあるが、これらの対策をどのように考えているのか。

答弁 建設課長

建設課では、職員2名を配置して日常的に点検をしている。

また、タイヤシヨベル等による除去は職員がしている。職員で対応できない場合は、建設業者等へ依頼し、通行の安全を図り、安全、快適な道路環境を整備し維持に努めている。

再問

シカやイノシシの通り道となって崩れ、町道に影響が出ている場合には小規模な復旧工事ができるような制度を作る必要があるのではないのか。

答弁 建設課長

今のところは採択は厳しい状態である。

●質問10●行政、悩みごと相談について

行政相談や、悩みごと相談が行われているが、どのような方針を立てて、相談に対応しているのか。

答弁 健康福祉課長

住民一人一人の悩みや困りごとを関係機関と連携して受けとめ、どのような相談内容であっても、適切な支援につなげるなど、横断的包括的な支援が求められているので、役場の各相談窓口をはじめ相談力の向上を図って参りたい。

●質問11●ゴミ問題、犬ねこの飼育問題について

被害に遭われた方には、深刻な問題で、有効な具体的事業計画はあるのかどうか。

答弁 住民課長

ゴミの不適切な排出が続いている人には、電話連絡や自宅訪問等により指導を行っている。犬や猫の糞は防災無線等で飼い主が責任を持って後始末するよう啓発を行ったり、放置されている現地に職員が行き看板を設置している。

●質問12●社会教育について

昭和53年に神山町成人大学講座で調査出版された「神山のおふなとさん」が歴史資料として、よく使われている。神山の歴史を見直す活動が必要ではないか。

答弁 教育長

今後、成人大学の学級長さん、或いは運営委員会の中で協議をしながら、今後の方向性を決めていきたい。

●質問13●まちづくり戦略課長

広報誌や動画を使って、過去の貴重な歴史を次の世代に繋いでいきたい。

一般質問



白土義信 議員



白土議員の録画映像はこちらから

●質問●
神山町にふさわしい新しいご当地キャラクターの製作について

神山町にふさわしい新しいご当地キャラクターの製作についてだが、神山町にもキャラクターがあるとか、あつたとかいうのを聞いたが、人に聞いてみても知らんなあというところで、あまり浸透もしていないように思う。

最近各地のイベント等にもキャラクターが登場して場を盛り上げているのをよく見た。3月のとくしまマラソンの応援で、国府の土手の上で見ていたが、次から次へと県下のキャラクターが登場してきて、8体ぐらいが、30キ口過ぎの苦しいところで、いろいろと選手を激励していた。

各地のキャラクターを見ていると、それだけの地区の特産品であったり、観光資源的なイメージのものが多いように思うが、神山町の場合、スグチになるが、県のマスコットキャラクターがすだちくんということなので、難しいところもあるが、神山町にはたくさんの方が来



てくれているので、すべての人に公募をかけて考えていただくのも案かと思うが、その前に、キャラクター製作について前向きに検討してくれるかどうかをお聞きする。

答弁 まちづくり戦略課長

新しいご当地キャラクターの製作に関するご提案について、まずは町の魅力発信や観光振興に向けた貴重なご提案をいただいたことに、御礼申し上げる。そのうえで、ご質問にお答えさせていただきます。

キャラクターは、イベントや観光、広報活動など、さまざまな場面で活躍できる存在であり、町のイメージ向上や親しみの醸成において、重要な役割を果たすと認識している。一方で、本町にはすでに、かんたくとあゆちゃん、そしてカジカガエルのカワズくんというキャラクターが平成2年頃から存在している。パンフレットやスクールバスのステッカー、さらには最近では「かみやまch」のオープニングの動画などにも活用されている。こうした既存のキャラクターには、長年の積み重ねがあり、町民の皆さまからも親しまれている背景がある。そのため、全面的に新しいキャラクターに切り替えることには、慎重さが必要であると考えている。また、仮に新しいキャラクターを製作する場合、公募から選考といった課程を経る必要があり、一定の時間を要する。またデザイン費や着ぐるみ等の製作費に加え、運用面においても人員の確保や人件費の発生など、相応の予算と体制が求められることから、費用対効果や明確な目的達成とのバランスを考慮し、丁寧に検討を進める必要があると思われる。とはいえ、ご提案の趣旨は十分理解しており、改めて考える良い機会をいただいたと思う。

今後については、既存キャラクターの活用方法やデザインの見直しも含めて、町の観光、

広報戦略の中で効果的な手法を検討していきたいと思う。

その過程で、新たなキャラクターの必要性が明確になった場合には、費用面や運用体制も含めて、議会のご意見もいただきながら、判断してまいりたいと考えている。

再問

既存の今までのキャラクターというか、やっぱりキャラクターは立体的で動きがあるというふうなのが、この頃の条件ではないかと思うが、今あるキャラクターはどういうものか、動きのある着ぐるみタイプなのか、教えていただきたい。

答弁 まちづくり戦略課長

現在の、かんたくん、あゆちゃん、それとカワズくんについては平面的なもので、動画の中では少し歩くような格好で動きはあるが、立体的ではない。キャラクターデザイン広報を持つて来ているが、こういうのがいる。(広報揭示)現在は平面的というところで、立体的なものが必要だということであればまた協議して、考えていきたいと思います。

答弁 町長

ただいまのご当地キャラクターについてという質問だが、魅力あるまちづくりに対するご提案には感謝を申し上げます。

さて、作成に関わる費用としては、着ぐるみが最低でも2体必要であるということ。また、クリーニング代、運用方法、保管管理方法など、他の事例を参考にどれぐらいの費用、手間がかかるかなどの試算をし、今あるかんたくん、あゆちゃん、カジカガエルのカワズくんとの関連性や、費用対効果、運用体制など、比較検証した上で様々な方々のご意見を参考に判断したいと考えているので、ご理解のほどよろしくお願いしたい。

一般質問



志甫 守 議員



志甫議員の録画映像はこちらから

●質問●
神山温泉の下駄箱のコインロッカーについて

神山温泉は、今から約22年前から今の下駄箱に100円を入れて、鍵をとってフロントでロッカーの鍵と交換をして風呂に入り、帰りはロッカーの鍵をフロントに戻し下駄箱の鍵を受け取って下駄箱の鍵に戻す。その時に100円は戻るが、100円を時々取り忘れている方が多く見受けられる。その仕組みを変える事は出来ないか。

答弁 産業観光課長

現在の下駄箱は建築当初から設置されており約22年が経過しているため故障している箇所があることから、現在の下駄箱からお金の要らないタイプに入れ替える予定で、神山温泉と協議している。

一般質問



森 一博 議員



森議員の録画映像はこちらから

●質問1● まちのクルマ Let's 事業 について

1 移動交通手段を持たない方の数は？

答弁 住民課長

課として把握できていない。

2 必要な方が必要ときに利用できている？調査を行っているのか？

答弁 住民課長

各事業所から、毎月報告をうけている。利用者にもご協力をいただき、キャンセルはない。

3 現状の事業者数で、ニーズにこたえられているのか？

答弁 住民課長

生活支援体制整備事業のアンケート調査では、「よかった」が87.6%を占め、概ねこたえられている。

4 改善点の有無と対処内容

答弁 住民課長

自家用有償車両委託料を見直している。実績を踏まえ検討を重ねた結果、1台当たりの委託料を7年度より9年度までの3年間で段階的に減額する。

5 財源確保の考え方は？

答弁 まちづくり戦略課長

本年度の事業予算8249万8000円のうち、特定財源・一般財源合わせて2200万8000円で27%を確保。国土交通省などに対し要望活動を継続。企業版ふるさと納税も積極的に働きかけ、さらなる財源確保に努めたい。

答弁 副町長

満足度は一定以上あるが、財源問題が大きく横たわっている。件数に大きな変化はないが、利用金額が上がっている。これについて、今まさに分析の最中で、本質を見極めて慎重に判断する。今後の財源であるが、継続して運用するには財源確保が何よりで、国の補助制度やふるさと納税寄付金確保など、ありとあらゆることを、町長筆頭に奮闘をしている。

●質問2● 鳥獣害について

1 これまでの被害額と取り組んできた内容、その結果にどう対処した？

答弁 産業観光課長

令和3年度の被害額は521万円。被害面積は193アール、令和6年度は被害額、510万円。被害面積77アールである。捕獲と防護の両面で対策を継続。町農作物鳥獣害防止対策事業費補助金制度も案内している。

2、今後の事業展開に対する方向性と進捗状況、財源確保は？

答弁 産業観光課長

今後も、防護柵の導入を推進するが、設置してない園地がさらに被害に遭う可能性がある中で、隣接園地の所有者や集落で、設置を検討するよう対策を講じたい。ニホンジカ、イノシシ、ニホンザルに対応した捕獲檻を購入。要望のあった集落から設置する予定。大型捕獲檻は出沒情報の多い地域への移転。財源確保は、しばらく一般財源を充てるようになる。

3 これまでどのような形で報告や周知を行ってきた？

答弁 産業観光課長

報告や周知は町民サポートに載せている。広報紙の特集で、集落に電気柵やワイヤーメッシュを大きく囲って対策をしている事例を掲載。継続して町民サポートや広報紙、神山チャンネルなどを活用して周知していきたいが、すべての方々に情報が行き届いてないことについては、1つの課だけの問題ではないので、役場内で共有し検討したい。

答弁 町長

住民に対しての報告・周知は1つの課だけの問題ではなく、役場職員全体が自分ごとの問題ととらえて鳥獣害対策に取り組んでいかなければ、本当の意味での対策にならない。丹精を込めて育てた作物が一瞬で荒らされてしまう絶望感、この土地に生きていく気力そのものがうせしてしまう大変大きな問題であると強く感じている。町民の皆さんに対する補助制度の周知徹底を、インパクトある周知方法の検討をし、職員研修を鳥獣害被害状況や対策について、自分ごととしてとらえていくために実施していきたい。

令和7年 名西消防組合議会

第1回臨時議会は5月20日石井町役場議場で開催された。
本臨時会では議案3件を審議し、原案どおり可決した。

議案第5号 消防救急デジタル無線基地局整備工事請負契約

請負代金 8,580万円
契約の相手方 香川県高松市 三電計装株式会社

議案第6号 名西消防組合職員の育児休業等に関する条例及び名西消防組合職員の勤務時間、休暇に関する条例の一部を改正する条例

議案第7号 徳島県市町村総合事務組合規約の変更

【町内行政視察について】

[6月16日]

6月16日行政視察を行った。視察場所は、林道奥屋敷線及び、林道殿宮線の2路線で、工事の進捗状況等を視察した。訪れる機会の少ない場所をゆっくり観察できる時間だった。森林の保育、間伐、木材の安定供給の確保など、安定的な森林事業を実施することを目的とした事業であり、殿宮線改良工事については災害等により本線封鎖の際「迂回路としての性格を持たせる」との説明を伺い、いずれの事業においても必要な施設であることを理解した。

奥屋敷線開設事業は令和元年より実施し、計画延長6,600mに対し、現在7億3千万円を投じ、28・7%の進捗状況とのことだが、急斜面であり、安定土質も少ない状況下、自然環境を考慮しつつ施工していること等を伺え、理解できる内容であると感じた。

現工事についても完成後は、大中尾と奥屋敷を連絡する路であり、災害対策にも大きく寄与するものと想像する。早期開設を望むとともに、作業従事者が事故無く安全に完了することを祈願する。

(仁志 哲也)

★右の写真及び表紙の写真は林道奥屋敷線（奥屋敷工区）の視察状況です。



議会の動き（予定）

8月 21日 議会運営委員会
9月 上旬 9月定例会
下旬 議会広報調査特別委員会
25日 四国四県町村長・議長大会
(高知県)
8日 10月 四国地区町村議会議長会議
員研修会（愛媛県）

つばき



早いもので、8月になりました。朝晩は、少し過ごしやすくなりました。季節は、これから秋らしくなると思いますが、やはり、今年もあついですねえ。みなさんはどうですか？

ひと昔前は、春夏秋冬がハッキリしていたような気がします。

最近、春秋が短く感じ、季節の移り変わりに体がついてこない、そんな感じ、年齢を重ねたせいでしょうか。

さあ、残暑に負けず、頑張りますよ。

(志甫 守)